

砧のひびき

166号



発行日 令和8年2月4日
 発行者 砧のひびき編集委員会
 事務局 砧まちづくりセンター

世田谷区、砧地区(砧・大蔵・岡本・砧公園)の人口・世帯数統計

令和8年1月1日現在	人口(前年同月比)	総世帯数(前年同月比)
世田谷区	928,666 人 (↓394)	508,002 世帯 (↓506)
砧地区	42,792 人 (↓9)	20,738 世帯 (↓10)

世田谷区のホームページでもご覧になれます。
 『砧のひびき』『砧地区ミニコミ』で検索してください。

世田谷区の中でも子育て世帯の多い砧地区。子どもたちには、学校だけでなく、放課後や休日に誰でも利用できる自由な居場所がたくさんあります。未就学児も参加できるイベントもあり、安心して過ごせます！今回は秋に行われたイベントとともに3つの施設を紹介します。

鎌田児童館「こどもまつり かまじむら」

毎年恒例の「こどもまつり かまじむら」が昨年11月9日(日)に鎌田児童館で行われました。

例年ならば隣接する仙川沿いの区道を通行止めにして会場設営するのですが、当日はあいにくの雨ふり。まつりのシンボルの高さ6メートルのティピ(アメリカインディアンの家)は今回ホールには入らず断念。小型のティピだけでしたが、砧の自然を使って楽しむコンセプトの雰囲気づくりに一役買っていました。

会場内は大勢の子どもたちが工夫を凝らしたお店を出店。手作り屋さん、ゲーム屋さんなどどれも楽しく、完成度の高いものばかり。大きな声を出してお客さんに説明する姿にも感心です。手作り体験コーナーや食べ物、飲み物コーナーは、保護者や地域の大人、高校生、大学生が担当。みんなで盛り上げている姿も素敵です。小学生だけでなく、幼児も保護者同伴で参加できるので、幼児向けの読み聞かせのコーナーも人気でした。

「児童館の担当エリアで来館してくれる児童はまだまだ少ない。子どもたちがもっと気軽に利用してくれるよう工夫したい。」と酒井館長は言います。

次は青空の下で高くそびえるティピとたくさんの子どもの笑顔を見たいと思いながら会場を後にしたこどもまつりでした！



酒井館長

砧南小の峯岸校長が金魚すくいに挑戦！

砧あそびの杜プレーパーク

昨年3月に外遊びの充実を目的に「砧あそびの杜プレーパーク」が大蔵運動公園アスレチック広場にオープン。区内5地域すべてにプレーパークがそろったそうです。

10月26日(日)にはリーダーハウス(愛称:崖っぶちハウス)とウッドデッキのお披露目会があり、近隣町会、関係者が見守る中、子どもたちが植樹やプレートの取り付けを手伝いました。その後、子どもたちは、たき火でマシュマロを焼いたり、ギターの音に合わせて歌ったり、ベーゴマで熱い勝負をしたりと大盛り上がり！プレーワーカーも遊び相手。一緒に遊びながら見守っていました。

最近は塾やゲームで外遊びが減っていますが、プレーパークでは木登り、泥遊び、穴掘り、枯れ木や石を集めて工作など自由に挑戦できます。近所の公園で規制されているボール遊びも、声を出して走り回るのも大歓迎！プレーワーカーや子育てサポーターなどいろいろな人が一緒に遊んでくれるので、遊びの幅がぐんと広がりそう。ここは「やってみたい！」を応援してくれる場所です。週末や春休みに、友達や家族と思い切り外遊びを楽しんでみてはいかが？



山野児童館「ぽんぽこむらまつり」

10月19日(日)子どもたちが楽しみにしていた「ぽんぽこむらまつり」が、正午より午後2時まで、山野児童館にて開催されました。このおまつりは、山野児童館の地域の大人たちの会「親だぬきの会」が中心となり実行委員会を組織して運営され、毎年、子どもたちのお店と大人たちのお店がたくさん出店します。子どもたちの手作りの「こものやさん」、「ゲームやさん」など、どれも楽しいものばかりです。大人たちは、焼きそば、たこ焼き、綿菓子などの食べ物のお店や、無料の手作りコーナーを担当します。



大人も子どもも「たぬきの耳」で扮装！



海をモチーフにした指輪



ビー玉ゲーム



子どものお店

雪だるまのキャンドル

清水館長

エンディングは、子どもたちによる見事なジャグリングやスピニングプレート！大歓声に包まれます。清水館長のご挨拶で楽しい楽しい子どもまつりはお開きになりました。



実行委員長/「親だぬきの会」代表 長島大輔さん



←記念の植樹は紅葉が美しい「めくすりの木」



↑完成したリーダーハウスとウッドデッキの前で砧地区の町会長よりお祝いのあいさつ

